

2. アレルギー大学講師の声 『原先生』

アレルギー大学 ～浜松での調理実習～ に寄せる思い

(財) 山田記念病院
管理栄養士 原 正美

浜松でアレルギー大学の調理実習にご参加頂きました皆様、お元気でお過ごしでしょうか。去年の調理実習も楽しく、おいしく？有意義なひと時を皆様と共に過ごすことが出来ました。今年も7月に浜松で教室が開かれますので、皆様のご参加をお待ちしております。

私は普段病院で管理栄養士として勤務しております。病院の勤務以外に市民講座や、すでに病院で勤務している管理栄養士に向けての実用的な栄養に関する講義、これから栄養士になる学生への基礎的な栄養の講義などを細々とこなしております。

栄養学の勉強の範囲は広く、臨床の世界の研究は日進月歩ですので、それに追いついていくことは大変です。しかし昨今、色々な疾病は栄養問題を抜きにして、その治療効果は語れない時代になりました。

とくにアレルギー疾患は様々な要因で引き起こり、対応もまだ統一性がとられていないために、一貫した栄養指導やアレルギー食調理がなされていない状態です。例えば東京の食物アレルギーの患者を受け入れている病院で、その対応を調査したところ各病院でそれぞれの方法がとられており、集団給食でのアレルギー食調理は多様な問題を抱えていることがわかりました。そのことを「日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会」の今年の4月発行の学会誌に私が執筆し掲載されています。今年浜松のアレルギー大学で私の調理講義をお受けになる方で、興味がお在りの方に詳細を報告したいと今から楽しみにしております。

浜松の調理実習には行政の方、病院勤務の方、保育園勤務の方など給食を提供する側の方々と、我が子の食事作りに頭を悩ませているお母さんたちなど、様々な立場の方が同じ調理台で実習を行います。普段の悩みや、苦勞をぜひ私たちに話してください。そして、アレルギーで苦しむ子ども達やおかあさん、給食提供側の皆様が笑顔で過ごせるように、おいしいアレルギー料理を勉強してゆきたい……。それが私のアレルギー大学・調理実習に寄せる思いです。

3. 震災がつなぐ… 『震つなのML』NO.3

ミャンマーのサイクロンによる洪水と中国四川大地震はあまりの被害の大きさに誰もが大きな驚きと悲しみをわが身のこととして受け止め、毎日のニュースをお聞きになっていることと思います。

あらためて、被害にあわれた方に心よりお見舞いを申し上げたいと思います。

「震つな」の「CODE 海外災害援助市民センター」から、毎日、支援ニュースが入っています。5月18日現在、すでにミャンマー・サイクロン被災者支援ニュースはNo.4 中国四川省大地震救援はニュース12を数えています。その2つを今回のメルマガではお伝えしますが、メルマガ読者の皆様に届く頃にはさらに状況も変わり、ニュースが増えていることと思いますので、その後のニュー

スをご覧ください。下記のHPをご覧ください。(メルマガ編集部)

<http://www.code-jp.org/> 中国四川省大地震救援ニュース

<http://www.code-jp.org/> ミャンマー・サイクロン被災者支援ニュース

中国四川省大地震救援ニュース 12 (「CODE 海外災害援助市民センター」より)
昨日の朝刊各紙によると、「ダム 391カ所 災害恐れ」(神戸・18日)、「800ダム
決壊恐れ」(朝日・18日)、「地震湖恐れ数千人避難」(毎日・18日)、「土砂崩れ
ダム決壊危機」(読売・18日)と、大規模二次災害の危険性を警告している。被災地ではまだ一縷の望みをかけて救出活動をしている一方で、テント生活や避難所生活をしている被災者に感染症などの注意を促している中で、現地新聞の次のような記事があったので「えっ?」と思った。

<CODE 翻訳ボランティアによるものです。>

住宅再建に向けての動き

16日夜都江堰市建設局の指示;1か月以内に11万平方メートルの仮設住宅(災民臨時過渡房)を建設。

17日に建設を開始した。場所は幸福大道沿いで富民路を起点とする地点。空地には13台の大型機械が整地をしており、1か月以内に少なくとも2,3年は住めるような家を建設するとのこと。

(18日6時14分 成都商報)

昨日の朝日新聞朝刊では、「震源地に近いアバ・チベット族チャン族自治州ぶんせん県にある大型ダム、紫坪鋪ダムには多数の亀裂が入っており、決壊すると被災者救援本部のある都江堰市が水没する恐れがある」と書かれています。やはり、阪神・淡路大震災や新潟中越の教訓で、被災者にとっては大変厳しいことだが、あせらずじっくりと復興に向かって欲しいと願うばかりです。人間の安全保障を謳っている国際社会では、貧困撲滅や紛争解決に必要なのは「保護とエンパワメント」と言っている。

中国四川省地震救援募金にご協力下さい

郵便振替:00930-0-330579 加入者名:CODE

*通信欄に「中国四川省地震支援」と明記してください。

募金全体の15%を事務局運営・管理費に充てさせていただきます。

+++++

ミャンマー・サイクロン被災者支援ニュース No.4 (「CODE 海外災害援助市民センター」より)

昨日の毎日新聞夕刊1面トップで、衝撃的な記事がでています。「親失った子ども2000人 人身売買業者が暗躍」また、ミャンマー軍事政権の発表では「死者7万7000人」とも。

いつも大規模災害ではこうした目を覆いたくなるようなことが起きることは事実です。2003年12月に発生したイラン地震の時にも、1週間後に入った被災地バムの周辺では人身売買が横行しているという話は聞いたことがあります。

さて昨日に続いて、CODE 翻訳ボランティアによる CARE の情報源からの続きです。(2008/5/13)

--- Myaung Mya 郡区にはおよそ 1 万人の生存者の避難所となっている 27 のキャンプがある。そのひとつを Nay が訪れている時には、隣の家が 4 人の家族ごと地面からひきちぎられて吹き飛ばされるのを目撃した男性に出会った。数分後には彼の家も洪水によって土台から押し流されて、彼と家族は急流に漂った。彼らは水が引くまで木にしがみついて何とか生き残ることができた。

CARE はデルタの生存者たちに、安全な水と衛生設備を提供するよう動いており、WFP を通じた食料提供を確実にしている。ヤンゴンでは、子供用の T シャツ、サロン(腰布)、下着、蚊帳、プラスチックシート、毛布、料理や食事の道具、ガスライター、歯ブラシ、歯磨き、バケツなどの食料品以外のものを集めており、梱包して今週はじめにもトラックでデルタ地帯へ運ぶ予定である。---

今、思い出したのですがご存じのように CODE が継続している「アフガンニスタンぶどう畑再生プロジェクト」のフィールドを決める二次情報源は、こうした UNOCHA に拾われている情報でした。

ミャンマー・サイクロン救援募金にご協力下さい

郵便振替：00930-0-330579 加入者名：CODE

*通信欄に「ミャンマー・サイクロン支援」と明記してください。

募金全体の 15%を事務局運営・管理費に充てさせていただきます

CODE 海外災害援助市民センター

〒652-0801 神戸市兵庫区中道通 2-1-10

tel +81(0)78-578-7744 fax +81(0)78-574-0702

e-mail:info@code-jp.org

4. 「歯科材料アレルギー治療の健康保険講座」(その6) 『菌田先生』

～虫歯の詰め物：アマルガムと自然環境～

～そんなにワルいんかい?～

これほどまでに悪者扱いされるアマルガムですが、なぜ現在でも保険治療の材料であり続けるのでしょうか。本当にそんなに良くないのでしょうか?という微妙で難しい質問です。

その昔、昭和時代のこと、日本人の食生活に激変が有りました。食べ物が、何も無い状態から、何でも有る状態になったのです。特に歯を取り巻く環境は激変。砂糖の大量消費、洋菓子やフルーツジュースや乳酸菌飲料そして、コーラの時代へ。皆さんには耳タコの話ですね。この食環境の激変で虫歯が増えた増えた…。でも、ちょっと待って。歯磨きすれば虫歯にならないって歯医者さんは言うじゃ

ない？フッ素とかもあるし、それ、どっか嘘っぽい、って…。う～む、おぬし、なかなか、出来る。実は、あまり言われていませんが、歯磨きをする場所の環境変化も少なからず関係するのです。

昔は洗面所があまり清潔な環境になく、例えば、風呂桶のすぐ脇に歯磨きする洗面台が有ることもザラ、湿度の高さからそこに置かれた歯ブラシなどは乾燥しにくく、菌が繁殖してブラシ本体が不潔になるのです。不潔なブラシでは清潔なものに比べて、菌が原因になる疾患の予防効果が劣るのは言うまでもないことでしょう。また、歯ブラシの材質や耐久性、さらに、交換時期を判断する常識もフッ素も今ほど知られていませんでした。

～敢えてアマルガムを弁護すると～

こんな時代ですから、当時まだ数少ない歯科医達は、来る日も来る日も、大人にも子供にも、たくさんの虫歯の穴埋めに追われ続けました。

そんな当時はアマルガム(水銀合金)が、歯の一回の治療時間の短さや虫歯再発予防効果と低コストという点で、最も優れた虫歯修復材料だったのです。環境意識はまだまだの時代でした。

まだ当時のレジン材料は、現代のものとは較べものにならないほど欠点が多く、アマルガムを凌駕できませんでした。しかし、その後レジンは大進歩を果たして、今では、アマルガムを凌ぐ材料になり広く導入されています。日常的な歯科材料としてのアマルガムの役割はほぼ終えたのです。

先進国ではアマルガムを使用しない事、資源回収が医療機関の認識の高さ、ステータスになっている国も出てきています。

～環境のウチとソト～

日本での水銀利用の歴史は都(みやこ)に近い紀伊半島でよく採取できたこともあって、かなり古くから赤い顔料(絵の具)として、また一昔前までは、俗に赤チンと呼ばれたマーキュロ(水銀)クロム製剤がよく擦りむき傷に使われました。塗ると赤色の中に角度によってはキラキラと金属光を放っていた記憶がありませんか。優れた薬品でしたが、水銀利用の製剤ゆえ、地球とそこに生活する人間と、両者の「環境問題」を大義に姿を消して行きました…。

～水銀マグロの赤身で寿司屋が青くなった昔話～

妊婦への栄養指導にマグロやカジキなどの天然大型海洋生物の厳しい摂食制限があるのはご存知ですね。神経や脳の発育に影響する可能性が高い水銀が問題です。なぜ海の幸に水銀が増えたのでしょうか。原因とされる食物連鎖を今や知らない人はいません。では、海に昔から多量の水銀があったのでしょうか？いいえ、人間が資源として掘り出して利用し、遂には海まで垂れ流してしまった 20 世紀に急増してきました。

国境絡みだった「世界戦争の世紀」は見た目には平和にはなりましたが、今から見ると、国境を超えた「世界環境汚染の世紀」だったのです。「やりたい放題、やりっぱなしの 20 世紀」はいまだにあちらこちらに見えますよね。例えば海洋水銀汚染進行の原因は、排水(歯科医療機関のアマルガムなど)からの拡散、廃棄物

(温度計など)からの拡散水銀の蒸気！(常温で液体の金属で微細な粒子となって飛散)などによって環境汚染が進行します。ある外国では水銀回収専門業者があるくらい環境と資源回収に神経を使っていると聞いています。

でも、日本の歯科治療の現場では…いまだに、…20世紀なのです。

そこで、皆さんにお願いいたします！

～自然環境・食環境・そして身体環境を守ろう！～

皆さんのペンによる一筆力(署名活動)をもって、歯科治療現場での水銀使用条件や回収について一定の制限が出来ないでしょうか？

水銀汚染防止策を考える事は、身体の健康に寄与する職である筈の歯科医師として当然であるばかりか、食環境さらには自然環境に寄与することになります。だから、私は皆さんの一筆力を頂ければ出来る可能性は少なからずある、実は大きいと思っています。

是非とも、機会の折りには署名運動その他のお力添えを下さい。

～まとめです～

歯科材料アレルギーではアマルガム(水銀)アレルギーが少なくない。そのため、アマルガム使用を原則は避けたい。

しかし、・鼻で呼吸が出来ないなど虫歯発生の傾向が強く、多発や修復後再発のリスクが大きい、

- ・少しでも早く穴埋めをする必要がある、
- ・修復の作業がレジン材料では行いにくい、

以上のような場合には敢えてリスクを承知でアマルガムを使わざるを得ないこともありうるのです。

その際は

- ・責任ある歯科医師から説明をきちんと受けてからその処置を受けること、
- ・アレルギー症状の悪化に対して、歯科医師とアレルギー主治医と患者さん自身とで、充分注意を払わなければならない、

したがって、アマルガムで治療をしたらアレルギーの主治医に必ず申告しておくこと、

以上を忘れずに心得ましょう。

～ついでにワンポイント～

アマルガムの詰め物と他の金属、特に貴金属含有量の多い修復や被せなどがお口の中で同居するのは避けましょう。アマルガムの金属成分腐食が進み易くなる結果、体内に水銀等が溶け出し易くなります。

体内に過剰な金属(ミネラル)成分の多くは髪の毛や体毛から排泄されます。血余(けつよ)とは血の余りと書きますが、中国医学で髪の毛の事。面白い一致ですね。

5. 「保険でよりよい歯科医療を」愛知連絡会第2回定期総会のご案内

昨年、発足した「保健でよりよい歯科医療を」愛知連絡会（以下「愛知連絡会」）の定期総会が開かれます。

「愛知連絡会」は歯科医療の国会請願署名では、過去はじめて 49000 筆集めた取り組みとなったそうです。

「保険でよりよい歯科医療を」の国への意見書採択は愛知県下で 14 の市町（趣旨が採択された新城市を含む）、をはじめ全国で 4 県議会、254 自治体の議会でおこなわれ、大きな広がりが出ています。

今年も引き続きこの取り組みをひろげていこうと第 2 回の総会が行われます。

総会では請願事項を補強する具体的な要請項目（「アレルギー対応の歯科材料の保険適用を」など）も加えすすめていくことなどを話し合います。

皆様の積極的なご発言でより豊かな取り組み内容となるようにすすめたいと思います。是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

尚、アレルギー支援ネットワークは昨年に続き、世話人の登録を行い、協力していきます。（世話人はアレルギー支援ネットワーク「中西里映子」です）

とき：2008 年 6 月 1 日（日）午後 1 時～3 時

ところ：愛知県保険医協会・伏見会議室

（名古屋市中区錦一丁目 13 番 26 号、三井生命名古屋伏見ビル 9 F）

◇プログラム

1. 記念講演 「ようこそ！歯の不思議博物館へ～健口から健考、そして健幸へ～」
講師；岡崎好秀氏（岡山大学医学部・歯学部附属病院小児歯科講師）

2. 総会

（議題）

2007 年度活動報告及び決算報告について

2008 年度活動方針および予算案について

意見交流

6. 賛助会員からのメッセージ 『プレミアムホーム有限会社』

当社はアレルギー体質の方に適した家造りをご提案しています。

近年話題とされている、シックハウス症候群などの改善予防になるよう日々努力を重ねてきた結果、海などで取れる天然自然素材のみで生まれる光熱触媒漆喰により居住空間で発生する CO₂ を始め、化学物質の吸着分解・遠赤外線効果による育成電磁波（遠赤外線波長 6～14μ の事で、植物の育成から動物の健康維持や体力増進にならなくてはならないもの）を用いた内装工法を特許出願いたしました。

最近では、自然素材住宅が流行っておりますが、自然素材のみの住宅ではアセトアルデヒド（VOC）と言われる化学物質が放散されています。このアセトアルデヒドを吸引し続けることで、高血圧などの症状を引き起こす可能性があると言われております。当「プレミアの家」仕様ではアセトアルデヒドを国の基準値以内

に低減し・その他、新建材や接着剤などに含まれるホルムアルデヒドなども同様に国の基準値（0.08ppm）を大きく下回る 0.008ppm 未満と言う測定分析結果を頂きました。

当事務所内にサンプルルームを設置しています。

今後は皆様方に「健康的に住んでいただく」をコンセプトに取り組んでまいります。

当社ホームページです。

<http://www.puremianoie.com>

携帯ホームページ



7. 理事のつぶやき 『小山理事』

松下エコシステムズ（株）の小山です。

現在、空気清浄機・除湿機・加湿機・扇風機などの National（→Panasonic）家庭用空質商品を担当しており、「健康的で清潔・快適な室内空気環境の提供」を目指しています。

私が始めてアレルギー問題を意識したのは、17年前に息子が入園した幼稚園のことです。

教会が運営する園児数30人位の小さな幼稚園で、給食も送迎バスもなく父兄の負担は大変でしたが、個々の園児の都合を最優先して見てくれるので、体調が安定しない・アレルギー症状がある・普通の給食が食べられない等々の事情を抱えた子供たちが多く通園していました。

そこで夏でも長袖服で皮膚のかゆみに耐え、市販のお菓子やジュースを我慢している園児たちと出会い、一人の大人として、「何で？」「何か出来ないか？」と強く考えさせられました。

そんな時、仕事の関係でアトピー研究会、健康住宅推進協議会などの各種研修会・活動に参加し、アレルギーの原因は「食べ物要因」と「住環境要因」に大別されることを教わり、当時私の仕事の住宅換気も「住環境要因」改善の有効な対策と知らされ、その後は「室内空気環境の改善を通じてアレルギー症で困っている人の役に立つ」が私の仕事のスローガンになりました。

以降、住宅用換気システム開発、シックハウス問題の対策検討、空気清浄機・ふとん乾燥機などの家庭用空質商品開発、抗アレルギー剤「アレバスター」の開発など、アレルギー抑制を目的とした商品の開発、効果検証に力を入れ、並行して国内外への訴求活動も行ってきました。

NPOの皆様にもこの間、多方面にお付き合いを頂きご指導を頂戴してきました。これからも益々、特に「住環境要因」対策面の研究・開発・検証・訴求活動を継続し、アレルギー症で困っている方々の問題解決、お役に少しでも立てればと思っています。

8. 会員からみなさまへ

五歳の長男は、麦類でアナフィラキシーショックを起こします。普段は除去食で

対応できますが、震災時に長男がどうやって生き抜けるか考えると、不安でした。市に確認しても、避難所で個別に相談してもらえない、との回答。それでは困る、一人でできる備蓄は限られているけれど、いざという時の支援体制が何かないだろうかと探してヒットしたのがアレルギー支援ネットワークでした。二月のアレルギーっ子防災フェアにも早速参加して、実際の震災時にどんなことが問題になるか、改めて考えることができました。アレルギー支援ネットさんの防災救援システムに期待しています♪

塚本 能子

9. アレルギー大学受講者の感想

5月10日に三重で開催されたアレルギー大学受講者の感想を集めました。
こちらからご覧下さい ↓↓↓

10. NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 2008 年度総会のご報告

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 2008 年度総会のご報告

4月27日（日）、午後2時から総会が行われました。
会場は名古屋市生活衛生センター会議室をお借りして行われ、総会に先立ち理事会も開催されました。（議事録をご覧ください）

中西事務局長が行った事業報告では「ホームページ（HP）」の閲覧が着実に増えていること、1日のHP hit 数は平均 4200 件を超え、訪問数も平均 245 件となっていることが話題となりました。しかも、アレルギーでは卵や牛乳のアレルギーの閲覧は少なく、エビ・カニや小麦、また室内環境のダニ対策や乾燥を取り上げた須藤理事長のPDFファイル、「ヒヤリハット集」のダウンロードが多く、他のHPサイトではとりあげていない項目への閲覧が増えていることが注目を集めました。

「アレルギー大学」が予定目標より大幅に増えたことなど各分野の事業が着実にすすんでいることが報告されました。又、決算では予算の倍近くの規模になり、嬉しい悲鳴を上げていることなどが報告されました。このため、今年度決算から税理士さんの協力を受け、税務報告（決算）を行うことが決まりました。

2008 年事業計画では「組織方針」が栗木理事より補強説明され、渡邊理事からの fax での激励（アレルギー大学など中心の事業を定着させ、認定NPO に！）も紹介され、今年度「認定NPOの申請」を行うこと、HPを更に充実するためリニューアルする、「アレルギー大学」を新たに岐阜でも開催することをめざし、大学関係機関との協力も模索するなどの事業計画、「医学気象予報」などや防災対策を引き続き強めていくことが報告され、確認されました。（事業報告書をご参照ください）

こうした、事業をすすめていくために

- 1.拠点となる事務所を年度内に開設する（名古屋市内）
 - 2.顧問を2人から3人に、副理事長を1名から2名にする、理事を2名増やす（総勢13人）、事務局スタッフを16名以上に増やすなど必要な補強を進めていく
 - 3.各地のアレルギーの会への支援とリーダー養成に努める
- ことなどが事業計画と併せて確認されました。（2008年事業計画書・予算案をご覧ください）

なお2008年の役員は

顧問に松永佳世子教授をお願いすることが決まり、副理事長に伊藤浩明理事が就任し、理事には二村昌樹理事、小山光幸理事が加わりました。

以下、新たな役員の皆さんです。（尚、松永教授からは5月18日、顧問への就任を快諾していただきました）

顧問 宇理須 厚雄 藤田保健衛生大学医学部教授、藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院（第二教育病院）小児科

顧問 水谷 章夫 名古屋工業大学建築学科教授

顧問（予定）松永佳世子 藤田保健衛生大学医学部皮膚科学教室教授

理事長 須藤 千春 中部大学応用生物学部教授

副理事長 小川 雄二 名古屋短期大学教授

〃 伊藤 浩明 あいち小児保健医療総合センターアレルギー科医長

理 事 橋本 宏一 あすのかがわを築く生活運動協議会理事

〃 岡本 光生 一級建築士。（有）快適空間研究所代表取締役

〃 渡邊 秀夫 （有）日革研究所取締役会長

〃 小山 光幸 松下エコシステムズ(株) 健康空質BU勤務

〃 二村 昌樹 あいち小児保健医療総合センターアレルギー科医長

〃 澤柳 京子 栄養士・浜松アトピーの会代表

〃 青木 好子 元池内わらべ保育園調理師

〃 園木 紀子 春日井ウィズ'sの会代表

〃 中西 里映子 岡崎アレルギーの会代表

（総務担当理事）栗木 成治 自治体職員

* 読者の皆様へお願い；

J R沿線の鶴舞、千種、大曾根附近で割安で災害時にも潰れない（救援拠点となるため）事務所があれば、ご紹介ください。

11. ホームページのお知らせから

A) 食物アレルギーひやりはっと事例集

<http://www.alle-net.com/taisaku/indexn.html>

B) 第3期アレルギー大学「調理実習献立一覧」

<http://www.alle-net.com/blog/event/2008%20alle-dai%20tyouri-kondate%202008.03.12.pdf>

C) 最新版アレルギー大学日程のお知らせ

D) 「ぜん息」症状のある方へ モニター調査にご協力ください

http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post_17.html

E) 「防災・救援ネットワークシステム」への登録のお願い

http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post_18.html

12. ボランティア・スタッフ募集

ボランティア・スタッフを募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、ボランティア・スタッフを募集しています》

- ・ パソコン(ワード、エクセル、アクセス、お絵かきなど)が得意な方
- ・ イラストなどを描くのが得意な方
- ・ 何でもやってみたいなという方
- ・ イベント、フェアなどを手伝ってくださる方

まずは、ご連絡ください。お待ちしております。

詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX : 0564-55-5702 e-mail : info@alle-net.com

13. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX : 0564-55-5702 e-mail : nakanishi@alle-net.com

★皆さんのお近くで、アレルギーに関心、興味をお持ちの方、アレルギーでお悩みの方がいらっしゃるようでしたら、「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン無料登録」をご紹介ください。

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは、asn-mailmagazin@alle-net.com (担当：園木) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★このメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務局担当(園木)sonoki@alle-net.com までお尋ねください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◆☆